



# EMR-1

**取扱説明書**

クラビノーバ/ポータートーン/ポータサウンド用

**YAMAHA**

このたびは、ヤマハデジタルドラマー  
EMR-1をお買い求めいただきましてありがとうございました。

デジタルドラマー・EMR-1は、  
手軽に、ドラムスやラテンパーカッションのリズムを楽しむ  
プリセットリズムマシンです。  
EMR-1の優れた機能を十分に活用していただくためにも、  
本書をよくお読みください。

## もくじ

	ページ
1 電源について	1
2 各部の名称とはたらき	2
3 接続方法	3
4 音を出してみましょう	4
5 リズムシーケンス	5
6 キーボードパーカッション	7
7 MIDIの諸機能	8
◆故障と誤りやすい現象	11
◆仕様	11

ご使用のまえに・・・ながくお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。



### …設置場所

次のような場所でご使用になられますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- 窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所。
- 温度の特に低い場所。
- 湿度やホコリの多い場所。
- 振動の多い場所。
- EMR-1には放熱用の穴がたくさん開いています。穴をふさがないようにご注意ください。
- オーディオアンプなどの近くに置くとブーンというハム音が出る場合があります。この場合は、オーディオアンプなどから離してください。



### …無理な力を加えない

過度の衝撃や無理な力を加えると故障の原因となります。本体を落としたり、上に座ったりしないようにご注意ください。



### …電源の処置

ご使用後は、必ず電源スイッチを切ってください。また、電源アダプターもご使用後は必ずはずしてください。



### …外装のお手入れ

お手入れは、乾いた布でカラ拭きしてください。シンナーやベンジンなどの溶剤は、外装をいためますので、使用しないでください。



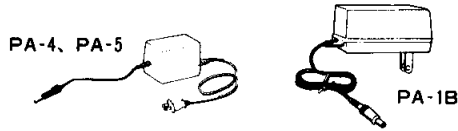
### …他の機器との接続

キーボードなどの他の機器と接続する場合、両方の電源スイッチを切ってから接続してください。

本機は、別売の電源アダプターによって電源を供給します。  
以下の注意事項をよくお読みになり、正しい接続をされますようお願いいたします。

### ▶ EMR-1を単独でお使いになる場合

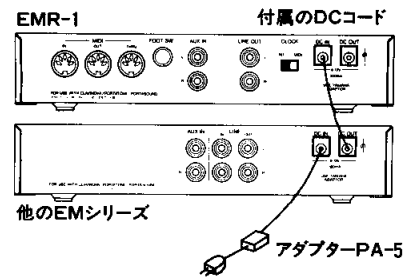
別売の電源アダプター“PA-1B”または“PA-4”“PA-5”をお使いください。これ以外のアダプターをご使用になることは、故障や事故の原因となりますのでご注意ください。



### ▶ EMR-1と他のEMシリーズを組み合わせて、2台同時にお使いになる場合

EMR-1を他のEMシリーズ（ディスクレコーダーEMQ-1など）とともに使う場合は、別売の電源アダプター“PA-5”をお使いください。PA-5の定格電流（2A）の範囲内であれば、PA-5 1つで複数のEMシリーズに対して電源を供給することができます。

▶ 接続方法は右ようになります。付属のDCコードを使って、一方の“DC OUT”端子ともう一方の“DC IN”端子を接続してください。



### ▶ 3台以上を同時にお使いになる場合

組合せによって、3台のEMシリーズに1つのPA-5から電源を供給することができます。この場合、各ユニットの最大電流値（リアパネルに表示されています）を合計したものが、2Aを上回らないことが条件です。

▶ 組合せ例1

EMR-1	+	EMT-1	+	EMQ-1	=	1500mA
300mA		300mA		900mA		

この場合は合計が2A以内ですので、1つのPA-5で3台を同時に使用できます。

▶ 組合せ例2

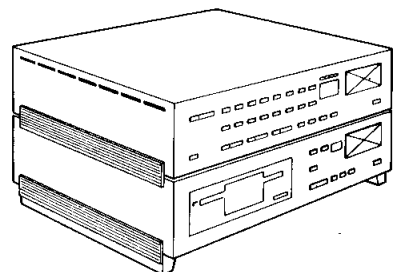
EMR-1	+	EMT-1	+	EMT-10	+	EMQ-1	=	2300mA
300mA		300mA		800mA		900mA		

この場合は合計2Aを越えていますので、2つのアダプターが必要です。

### 受け台と固定板の取り付けかた

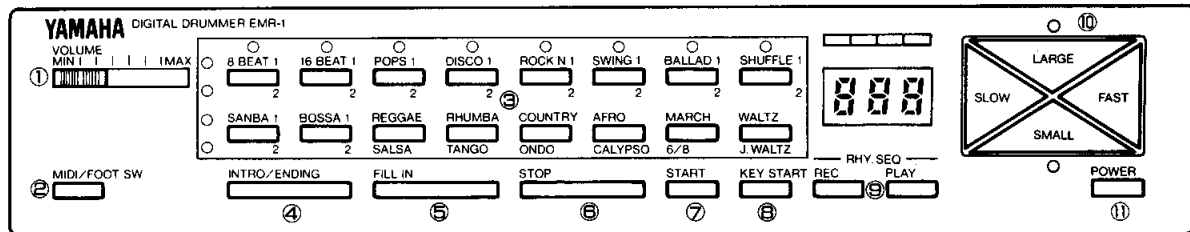
付属品として、2セットの受け台と固定板があります。受け台は、お求めになった機種を一番下にして使うときに、固定板と組み合わせてお使いください。まず、受け台の5つの溝に固定板を差し込んでください。同様に、反対側の側面にも受け台と固定板を組み合わせたものを差し込みます。このようにすると、クラブノーパーシリーズの上に乗せた場合、スピーカーを遮蔽してしまうようなことはありません。

また、他のEMシリーズをお求めになり上に積み重ねるような場合には、固定板だけを使い、下の機器の側面の溝と上の機器の側面の溝をつなぎます。



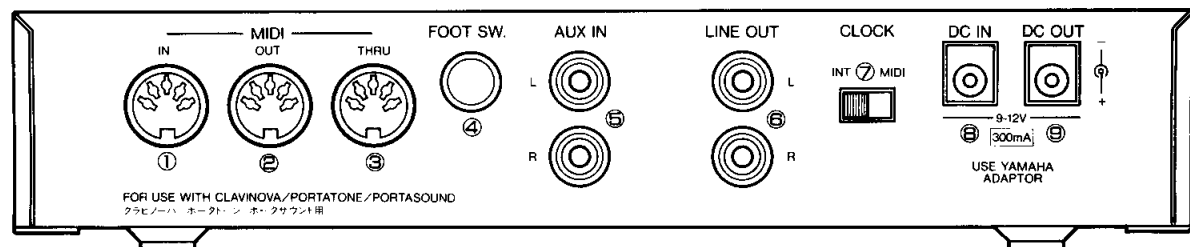
## 2 各部の名称とはたらき

### ▶フロントパネル



- ①ボリューム (VOLUME) スライダー  
本機の出力する音量を決めます。
- ②ミディ (MIDI)/フットスイッチ (FOOT SW)  
MIDIチャンネル (送信、受信) を設定する場合や、フットスイッチの機能を設定するときなどに押します。
- ③リズム選択スイッチ  
リズムを選ぶためのスイッチですが、MIDI機能の切り換えにも用います。
- ④イントロ (INTRO)/エンディング (ENDING)  
リズムのイントロパターンとエンディングパターンを演奏します。
- ⑤フィルイン (FILL IN)  
リズムにフィル (FILL) を入れ、変化をつけます。
- ⑥ストップ (STOP)  
演奏しているリズムをストップします。
- ⑦スタート (START)  
リズムの演奏をスタートします。
- ⑧キースタート (KEY START)  
MIDI接続した鍵盤を弾くと同時に演奏をスタートさせます。
- ⑨リズムシーケンス録音 (REC)/再生 (PLAY) (⇒6ページ)  
リズムの演奏順序を記録し、再生する機能です。
- ⑩サウンドシフター (⇒4ページ)  
リズムのテンポを設定したり、バリエーションを選びます。
- ⑪電源 (POWER) スイッチ  
本機の電源をON/OFFします。

### ▶リアパネル



- ①ミディ入力 (MIDI IN) 端子  
本機が受けとるMIDI信号は、ここに入力します。
- ②ミディ出力 (MIDI OUT) 端子  
本機が送信するMIDI信号の出口です。
- ③ミディ・スルー (MIDI THRU) 端子  
MIDI IN端子に入力された信号を、そのまま外部に送り出しています。
- ④フットスイッチ端子 (⇒5ページ)  
別売のフットスイッチを接続して、各種の操作を足元で行います。
- ⑤補助入力 (AUX IN) 端子 (⇒3ページ)  
ここに入力された信号は、本機の音色とミックスされて出力端子から出力されます。
- ⑥出力 (LINE OUT) 端子  
本機の出力端子です。アンプやクラビノーバシリーズなどと接続します。
- ⑦クロック (CLOCK) 選択スイッチ  
通常はINT側に設定し、ディスクレコーダーなどとMIDI接続して双方のテンポを合わせるときのみMIDI側にします。
- ⑧電源入力 (DC IN) 端子 (⇒1ページ)  
別売の電源アダプターを接続し、電源を供給します。
- ⑨電源出力 (DC OUT) 端子 (⇒1ページ)  
複数のEMシリーズを使う場合、他のEM機器に電源を供給します。

## ▶ 出力端子の接続

★付属のピンコードをご使用ください。

本機はスピーカーを内蔵していません。したがって、次のような機器と接続しなければ音を出すことはできません。

## ●スピーカーを内蔵し、“AUX IN”や“OPTIONAL IN”端子を装備している電子楽器

- ⇒クラビノーバシリーズ (CLP-300、CVP-10など)
- ⇒ポータートーンシリーズ (DSR-2000、PSR-90など)

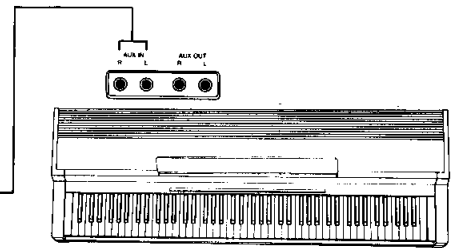
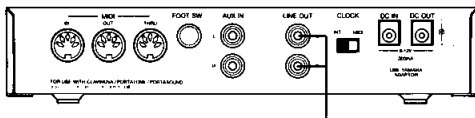
## ●キーボード用アンプ

- ⇒キーボードアンプKA-10

## ●家庭用オーディオセット

ここでは、CLP-500のスピーカーから出力させる接続例をあげておきます。

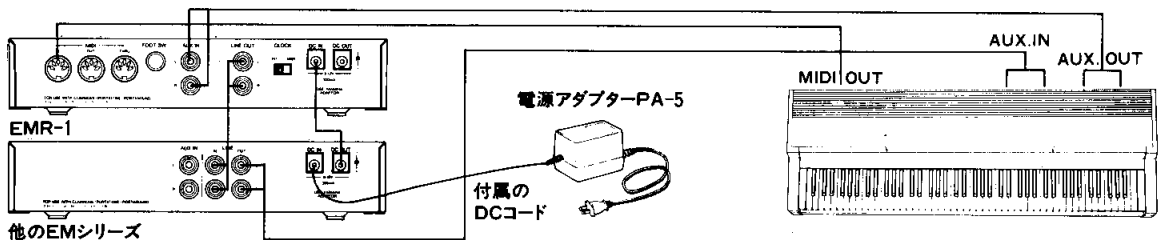
★接続時は、スピーカーをもつ機器の電源は“OFF”にしてください。



★本機は、ステレオ (L, R) 出力です。

## ▶ 他のEMシリーズといっしょに使用する場合の接続

複数のEMシリーズを同時に使う場合、“AUX IN”端子を利用すると、一台のEM機器からすべてをミックスした音を出すことができます。ここでは、“EMR-1”と本機を同時に使用する場合の接続例をあげておきます。

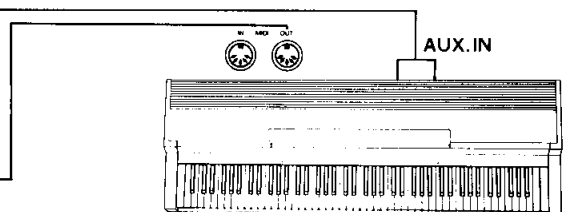
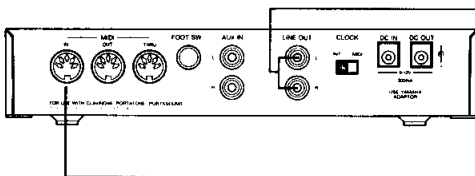


## ▶ MIDI端子の接続

★付属のMIDIケーブルをご使用ください。

クラビノーバシリーズなど、MIDI端子を装備した鍵盤楽器とMIDIケーブルで接続すると、鍵盤を弾くと同時にリズムの演奏がスタートする“キースタート”や、鍵盤で各リズム楽器を鳴らす“キーボードパーカッション”が行えます。

ここでは、クラビノーバシリーズの“CLP-500”との接続例をあげておきます。



★メーカー、機種を問わず、すべて上のように接続します。

## 4 音を出してみましょう

### ①電源スイッチを押して“ON”にします。

★電源をONにしたときは、つねに“8 BEAT 1”にランプが点灯し、テンポは“120”に設定されています。



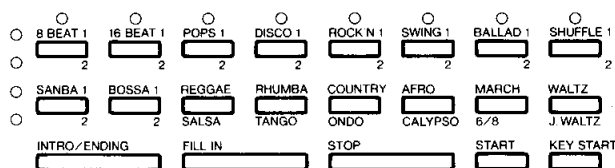
### ②スタート (START) スイッチを押すとリズムの演奏が始まります。

★なるべく本機のボリュームは最大にし、アンプ側で音量を調整したほうが、ノイズの少ない音になります。



### ③リズム選択スイッチで音を切り換えます。

各スイッチに2つのリズムが割り当てられており、それらはスイッチを押すごとに切り換わります。

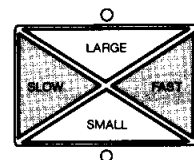


○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	8ビート1	16ビート1	ポップス1	ディスコ1	ロックンロール1	スウィング1	バラード1	シャッフル1
○	8ビート2	16ビート2	ポップス2	ディスコ2	ロックンロール2	スウィング2	バラード2	シャッフル2
○	サンバ1	ボサノバ1	レゲエ	ルンバ	カントリー	アフロ	マーチ	ワルツ
○	サンバ2	ボサノバ2	サルサ	タンゴ	音頭	カリプソ	6/8マーチ	ジャズワルツ

### ④サウンドシフターの“SLOW”“FAST”で、テンポを変えることができます。

★各リズムは、テンポによってそのパターンが3通りに変化します。(⇒5ページ参照)

★“SLOW”と“FAST”を同時に押すと、そのとき選ばれていたリズムの標準テンポになります。

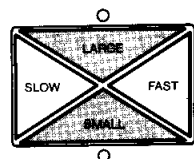


### ⑤サウンドシフターの“SMALL”“LARGE”によって、3種類のリズムバリエーションを聴くことができます。

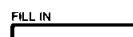
★“SMALL”を押してランプが点灯しているときは、楽器の数が少なくなります。

★“LARGE”を押してランプが点灯しているときは、楽器の数が多くなります。

★“SMALL”と“LARGE”を同時に押すと、ノーマルパターンに戻ります。



### ⑥“FILL IN”を押すと、フィルのに入ったパターンを演奏します。



### ⑦“INTRO/ENDING”を押すと、2小節のエンディングパターンで演奏を終了します。

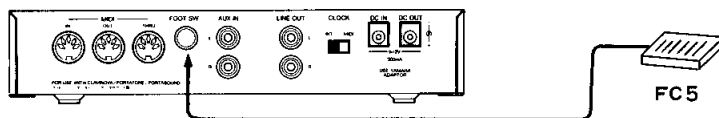


〈各リズムパターンのテンポによるバリエーション〉

リズム	SLOW	標準	FAST	リズム	SLOW	標準	FAST	リズム	SLOW	標準	FAST
8BEAT 1	82	112	128	BALLAD 1	52	60	68	COUNTRY	100	116	132
8BEAT 2	82	112	128	BALLAD 2	60	72	92	ONDO	90	110	128
16BEAT 1	60	80	96	SHUFFLE 1	78	100	120	AFRO	80	102	120
16BEAT 2	82	96	108	SHUFFLE 2	60	78	92	CALYPSO	110	128	148
POPS 1	78	94	108	SAMBA 1	76	102	110	MARCH	108	118	128
POPS 2	106	112	132	SAMBA 2	74	102	112	MARCH 6/8	100	114	128
DISCO 1	92	112	128	BOSSANOVA 1	120	140	160	WALTZ	86	112	140
DISCO 2	86	104	120	BOSSANOVA 2	118	140	160	JAZZ WALTZ	86	112	140
ROCK'N 1	104	126	144	REGGAE	74	90	104				
ROCK'N 2	104	126	144	SALSA	66	82	96				
SWING 1	90	112	132	RHUMBA	108	120	132				
SWING 2	90	112	132	TANGO	102	124	144				

フットスイッチの機能設定

リアパネルの“FOOT SW”端子に、別売のフットスイッチ“FC4” “FC5”などを接続すると、各種の操作を足元で行うことができます。



- イントロ／エンディングをフットスイッチで  
MIDI/FOOT SW を押しながら INTRO/ENDING
- スタート／ストップをフットスイッチで  
MIDI/FOOT SW を押しながら STOP
- フィルインをフットスイッチで  
MIDI/FOOT SW を押しながら FILL IN
- ブレイク(パットと音を止める)をフットスイッチで  
MIDI/FOOT SW を押しながら KEY START
- スタートをフットスイッチで  
MIDI/FOOT SW を押しながら START

## 5 リズムシーケンス

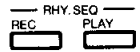
▶リズムシーケンスとは

リズムシーケンスとは、フィルインやエンディングの位置、リズムの切り換えやバリエーションの変更、テンポなどを記憶して、1曲分のリズムデータを作成する機能です。

- 1曲分のデータを記憶します。 ●電源を切ると、データは消えてしまいます。

## ▶リズムシーケンスデータの作成

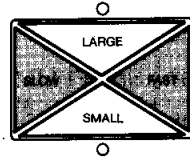
① "REC" を押しながら "PLAY" を押します。



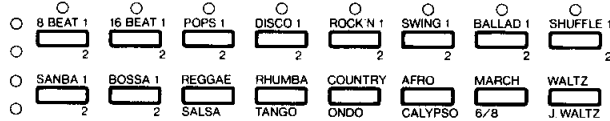
★すでにデータが入っていた場合は消去され、白紙の状態になります。

★1秒間 "CLR" を表示した後、"0" が表示されます。(現在の総小節数は、0であることを表しています)

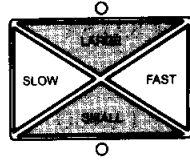
② "SLOW" "FAST" でテンポを設定します。



③はじめに演奏するリズムを選びます。



★ "SMALL" "LARGE" でリズムのバリエーションを選びます。



★イントロパターンを演奏するときは、"INTRO/ENDING"、フィルインを演奏するときは "FILL IN" を押します。



- ・INTRO/ENDING ..... 2拍目
- ・FILL IN ..... 3拍目 のLEDが点灯
- ・BREAK..... 4拍目

④ "REC" を押すと、1小節目のリズムとして③で設定したリズムが記録されます。



⑤ここでさらに "REC" を押すと、③で選んだリズムを2小節小節目にも記録します。

★③でイントロを選んだ場合は3小節目になります。(イントロパターンは2小節であるため)

★ "REC" を押す回数で、記録される小節の長さが決まります。

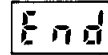
⑥途中でリズムを変える場合は、③と同じ方法で新たなリズムを選び、⑤と同様 "REC" を押して記録していきます。

★ "REC" を押すごとに、⑥で選んだリズムが1小節ずつ記録されます。

★このときディスプレイは、⑥で選んだ新たなリズムの続く小節数を1秒間表示した後、それまでの総小節数を表示します。

⑦曲の途中でテンポを変えるときは、②と同様の操作を行います。

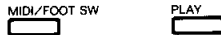
⑧ "STOP" を押すと "End" が表示され、データの書き込みを終了します。



★ "START" "KEY START" でも、同じ動作になります。

## ▶リズムシーケンスデータのチェックと修正 (チェックモード)

① "MIDI" を押しながら "PLAY" を押すと、作成されたシーケンスデータに基づいて、まず最初に演奏されるリズムのランプが点灯します。



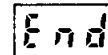
★ここでチェックモードを抜けるには、"STOP" "KEY START" のいずれかを押します。

②さらにもう一度 "MIDI" を押しながら "PLAY" を押すと、次に演奏されるリズムのランプが点灯します。

★このときディスプレイには、そのリズムの続く小節数を1秒間表示した後、そこまでの総小節数を表示します。

③以下 "MIDI" を押しながら "PLAY" を押すごとに、パネルの表示がシーケンスデータに基づいて変化します。

★最後までいくと "End" が1秒間表示された後、全体の総小節数が表示されます。



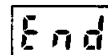
④ "REC" と "PLAY" を同時に押すと、そのとき表示されていた小節から後のデータを修正することができます。

★そのとき表示されていた小節以降のデータはすべて消去されます。

★ここで "MIDI" を押しながら "REC" を押すと、さらに1小節前からデータの修正が行えます。

★ "End" が表示された後 (最後部で) この操作を行って、曲を延ばすこともできます。

⑤「リズムシーケンスデータの作成」の⑥と同様の操作をしてデータを書き込みます。

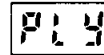


⑥ "STOP" を押すと "End" が表示され、データの書き込みを終了します。



## ▶リズムシーケンスデータの再生

① “PLAY” を押します。(“PLY” が点滅します)



② “START” “KEY START” “INTRO/ENDING” のいずれかを押します。

★KEY STARTの場合は、MIDI接続された鍵盤を弾きます。

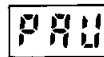
★INTRO/ENDINGの場合は、イントロパターンから演奏が始まります。

★リズムシーケンス再生時は、ディスプレイの右下に “.” (ドット) が表示されます。

③演奏中に “START” を押すと、演奏を一時停止します。

★再度 “START” を押すと、一時停止を解除します。

★このとき、一時停止をしたときのモードをLEDに表示します。



- ・INTRO/ENDING …………… 2 拍目
- ・FILL IN …………… 3 拍目 のLEDが点灯
- ・BREAK…………… 4 拍目



## 6 キーボードパーカッション

MIDIを押しながらの操作の場合、最初に押した時は現在のパラメーターを表示するだけなので、2度以上押してデータエントリーをしてください。

### ▶キーボードパーカッションのON/OFF

キーボードパーカッションとは、本機のMIDI IN端子に接続した (⇒3 ページ) 鍵盤楽器の鍵盤を弾くことによって、本機が内蔵する37種類のリズム楽器を鳴らす機能です。

MIDIスイッチを押しながら、“COUNTRY/ONDO” スイッチを押すごとに、キーボードパーカッションのON/OFFが切り替わります。

★電源を入れたときはいつもOFFになっています。

★最大同時発音数は8音です。

●LARGEのランプが点灯 ……………キーボードパーカッションON

●SMALLのランプが点灯 ……………キーボードパーカッションOFF

以下に、電源を入れたときの、各リズム楽器と鍵盤の対応を示します。



鍵盤	楽器番号：楽器名	鍵盤	楽器番号：楽器名	鍵盤	楽器番号：楽器名
F 1	5：バスドラム	F# 2	7：ライドシンバル	G 3	20：ティンパレス(高)
F# 1	11：リムショット	G 2	17：エレクトロニックタム(低)	G# 3	32：カスタネット
G 1	4：スネアドラム(ミドル)	G# 2	3：クラッシュシンバル	A 3	23：クイーカ(低)
G# 1	10：ブラッシュショット	A 2	16：エレクトロニックタム(中)	A# 3	26：カウベル
A 1	5：スネアドラム(ライト)	A# 2	37：リバースシンバル	B 3	22：クイーカ(高)
A# 1	6：ハイハット(ペダル)	B 2	15：エレクトロニックタム(高)	C 4	31：ハンドクラップ
B 1	9：スネアドラム(ゲート)	C 3	19：コンガ(低)	C# 4	25：アゴゴ(低)
C 2	36：タム(スルード)	C# 3	35：シェーカー	D# 4	24：アゴゴ(高)
C# 2	1：ハイハット(クローズ)	D 3	18：コンガ(高)	F# 4	28：タンバリン
D 2	14：タム(低)	D# 3	34：ウッドブロック(低)	G# 4	29：トライアングル(クローズ)
D# 2	2：ハイハット(オープン)	E 3	27：ボンゴ	A# 4	30：トライアングル(オープン)
E 2	13：タム(中)	F 3	21：ティンパレス(低)		
F 2	12：タム(高)	F# 3	33：ウッドブロック(高)		

### ▶タッチ感覚の切り換え

MIDIスイッチを押しながら “WALTZ/J. WALTZ” スイッチを押すごとに、キーボードパーカッション時のタッチ感覚を選択できます。

●SMALLのランプが点灯 …………… 普通の状態(強弱をあまりつけない)

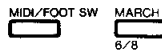
●LARGEのランプが点灯 …………… 強弱がつかます。



## ▶リズム楽器と鍵盤の対応

キーボードパーカッション時の、各リズム楽器と鍵盤の対応を変えることができます。

①MIDIスイッチを押しながら“MARCH/6/8”、あるいは“AFRO/CALYPSO”を押して、鍵盤を変更したい楽器の楽器番号（前ページ参照）をディスプレイに表示させます。



②①の状態のまま（MIDIスイッチを押したまま）、その楽器に対応させたい鍵盤を押します。

★以前その鍵盤に割り当てられていた楽器は、その鍵盤では鳴らなくなります。

## ★ある楽器音だけを消す方法

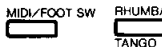
本機のMIDI IN端子に鍵盤楽器を接続した場合は、“START”を押しながら各楽器に対応した鍵盤を押すと、演奏しているリズムからその楽器の音だけを消すことができます。

再度その鍵盤を押すと、消した音が再びあらわれます。またリズムを変えると、消した音が再びあらわれます。

## ▶キースプリットの設定

MIDIスイッチを押しながら“RHUMBA/TANGO”スイッチを押し、そこでさらにいずれかの鍵盤を押すと、その鍵盤がスプリットポイントとなります。

★キースタートを行うときは、スプリットポイントから低域の鍵盤を弾きます。



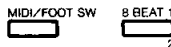
★鍵盤を押さないときは“F#2”に設定されます。

# 7 MIDIの諸機能

## ▶MIDIチャンネルの設定

MIDIスイッチを押しながら“8 BEAT 1/2”スイッチを押すごとに、MIDI送信チャンネルを、またMIDIスイッチを押しながら“16 BEAT 1/2”スイッチを押すごとに、MIDI受信チャンネルを設定できます。

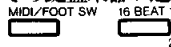
★チャンネル番号はディスプレイに表示されます。



★電源ON時は送受信チャンネルとも、つねに“1”になっています。

## ▶MIDIチャンネルの自動設定（SK周辺機器シリーズ指定チャンネルの設定）

●MIDIスイッチを押しながら“16 BEAT 1/2”スイッチを押し、MIDI接続された鍵盤を弾くと、その鍵盤楽器が送信したMIDIチャンネルを、本機のMIDI受信チャンネルとして設定します。



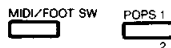
●MIDIスイッチを押しながら電源スイッチを入れると、送受信チャンネルとも自動的に“15”チャンネルに設定され、オムニオフになります。これは複数のEMシリーズを同時に使用する場合の“SK周辺機器シリーズ指定チャンネル”となります。

## ▶MIDIオムニモードの設定

MIDIスイッチを押しながら“POPS 1/2”スイッチを押すごとに、MIDIオムニモードのON/OFFが切り換わります。

●LARGEのランプが点灯……………オムニモードOFF（受信チャンネルに設定したチャンネルのみ受信します）

●SMALLのランプが点灯……………オムニモードON（受信チャンネルの設定に関係なく、すべてのチャンネルを受信します）

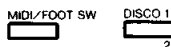


★電源ON時はつねにONになっています。

## ▶MIDIプログラムチェンジの送受信ON/OFF

MIDIスイッチを押しながら“DISCO 1/2”スイッチを押すごとに、MIDIプログラムチェンジの送受信ON/OFFが切り換わります。

●LARGEのランプが点灯……………MIDIプログラムチェンジの送受信を行いません。



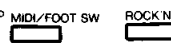
●SMALLのランプが点灯……………MIDIプログラムチェンジの送受信を行います。

★電源ON時はつねにONになっています。

## ▶MIDIコントロールチェンジの送受信ON/OFF

MIDIスイッチを押しながら“ROCK'N 1/2”スイッチを押すごとに、MIDIコントロールチェンジの送受信ON/OFFが切り換わります。

●LARGEのランプが点灯……………MIDIコントロールチェンジの送受信を行いません。



●SMALLのランプが点灯……………MIDIコントロールチェンジの送受信を行います。

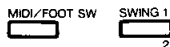
★電源ON時はつねにONになっています。

★ボリュームコントロール（コントロールナンバー7）だけは、別途にON/OFFが選択できます。（⇒9ページ）

## ▶パネルデータの送信

MIDIスイッチを押しながら“SWING 1/2”スイッチを押すと、その瞬間に現在のパネルの状態(以下参照)をMIDI送信します。送信されるデータは以下のとおりです。

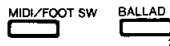
- ・現在選ばれているリズム
- ・現在のバリエーション (SMALL、NORMAL、LARGE)
- ・現在のテンポ
- ・タッチ感覚の選択 (⇒7ページ)
- ・キーボードパーカッションのON/OFF



ディスプレイコーダー“EMQ-1”やシーケンサーによって本機をコントロールする場合にこのデータを録音しておけば、本機を完全にリモートコントロールした自動演奏が可能になります。

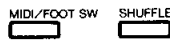
## ▶リズムシーケンスデータの送信

MIDIスイッチを押しながら“BALLAD 1/2”スイッチを押すと、その瞬間にリズムシーケンスデータ(⇒6ページ)をMIDI送信します。



## ▶キーボードパーカッションデータの送信

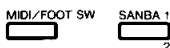
MIDIスイッチを押しながら“SHUFFLE 1/2”スイッチを押すと、その瞬間にキーボードパーカッションにおける鍵盤と楽器の対応データ(⇒7ページ)をMIDI送信します。



## ▶スタート/ストップの送受信ON/OFF

MIDIスイッチを押しながら“SAMBA 1/2”スイッチを押すごとに、演奏のスタート/ストップのMIDI送受信ON/OFFが切り換わります。

- LARGEのランプが点灯……………スタート/ストップの送受信を行いません。(OFF)
- SMALLのランプが点灯……………スタート/ストップの送受信を行います。(ON)



★本機のMIDI IN端子に接続されている楽器のスタート/ストップの影響を受けたくないときに“OFF”にします。

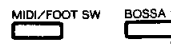
★テンポに関する情報(タイミングクロック)のON/OFFは行いません。

★電源ON時は常にONになっています。

## ▶MIDIボリュームコントロールの受信ON/OFF

MIDIスイッチを押しながら“BOSSA 1/2”スイッチを押すごとに、MIDIボリュームコントロールの受信ON/OFFが切り換わります。

- SMALLのランプが点灯……………ボリュームコントロールの受信を行いません。(OFF)
- LARGEのランプが点灯……………ボリュームコントロールの受信を行います。(ON)



★電源ON時は常にOFFになっています。

MIDIエクスクルーシブメッセージ

★“H(ヘキサ)”は16進数であることを表します。

★“n”はMIDIチャンネルから1引いた数です。

## ▶MIDI送受信チャンネルを外部からセット [F0H、43H、73H、13H、xxH、nnH、F7H]

上記のフォーマットの“nn”部を設定したいMIDIチャンネルを16進数(00~0F)に、また“xx”部を下のように設定して送信、受信を区別します。

- 送信チャンネルの設定……………00H
- 受信チャンネルの設定……………01H

## ▶サウンドシフターを外部からセット [F0H、43H、73H、13H、11H、nnH、F7H]

サウンドシフターの種類によって、上記の“nn”部を次のように設定します。

- SMALL……………06H
- NORMAL……………07H
- LARGE……………08H

## ▶フィルイン、ブレイク、イントロ等のコントロール [F0H、43H、73H、13H、11H、nnH、F7H]

---

上記の“nn”部を次のように設定します。

- フィルイン .....ON.....09H/OFF.....0AH
- ブレイク .....ON.....0BH/OFF.....0CH
- イントロ/エンディング .....ON.....0DH
- シーケンスプレイ .....ON.....0EH

## ▶キーボードパーカッションのコントロール [F0H、43H、73H、13H、11H、nnH、F7H]

---

上記の“nn”部を次のように設定します。

- キーボードパーカッション ON.....11H
- キーボードパーカッション OFF.....10H

## ▶タッチカーブの切り換え [F0H、43H、73H、13H、11H、nnH、F7H]

---

上記の“nn”部を次のように設定します。

- タッチカーブ1 (mf=64) .....20H
- タッチカーブ2 (mf=96) .....21H

## ▶ボリュームコントロールのON/OFF [F0H、43H、73H、13H、23H、nnH、F7H]

---

上記の“nn”部を次のように設定します。

- ボリュームコントロール  
OFF.....00H
- ボリュームコントロール ON.....01H

## ▶スタート・ストップのキャンセル [F0H、43H、73H、13H、24H、nnH、F7H]

---

上記の“nn”部を次のように設定します。

- スタート・ストップをキャンセルしない .....00H
- スタート・ストップをキャンセルする .....01H

## ▶その他のエクスクルーシブメッセージ

---

次のフォーマットのエクスクルーシブメッセージを受信したときは、以下のような機能がはたらきます。

- [F0H、43H、2xH、7CH、F7H] .....パネルデータを送信します。
- [F0H、43H、2xH、7DH、F7H] .....NAMEデータを送信します。
- [F0H、43H、0xH、7CH、F7H] .....7CHにつづくパネルデータを受信し、セットします。

## ▶電源投入時の設定

---

電源を入れると、本機は下のよう設定されます。

- MIDI送信チャンネル.....1ch
- MIDI受信チャンネル.....1ch
- オムニモード.....ON
- キーボードパーカッション.....OFF

“MIDI”スイッチを押しながら電源を入れると、本機は下のよう設定されます。

- MIDI送信チャンネル .....15ch
- MIDI受信チャンネル .....15ch
- オムニモード .....OFF
- キーボードパーカッション .....ON

# 故障と誤りやすい現象

次にあげる現象は故障と間違えやすいものです。故障と思う前にご確認ください。

現象	原因と処置
音が小さい、あるいは出ない。	<p>▶本機およびアンプ類の電源は入っていますか？                      □本機とアンプ類双方の電源を入れてください。</p> <p>▶本機のボリュームは上がっていますか？                      □ボリュームを上げてください。</p> <p>▶本機とアンプ類の接続は完全でしょうか？                      □3ページを参考にして正しい接続を行ってください。                      □接続が完全でも、コードの断線などで音が出ないこともあります。</p>
リズムがスタートしない	<p>▶クロック選択スイッチが“MIDI”になっていませんか？                      □本機のスタートスイッチで演奏を開始するときは“INT”にします。</p>
音が歪む	<p>▶アンプやミキサーの入力レベルを上げすぎていませんか？                      □アンプ類の入力レベルを下げて適正なレベルにします。</p>

## 仕様

■音源	カリブソ	ボンゴ	(PA-1B、PA-4、PA-5)
PCM音源	マーチ	タンバリン	
■同時発音数	マーチ 6/8	トライアングル (クローズ)	■最大電流
8音	ワルツ	トライアングル (オープン)	300mA
■内蔵リズムパターン	ジャズワルツ	ハンドクラップ	■寸法
8ビート 1	■楽器音	カスタネット	間口：218mm
8ビート 2	ハイハット・クローズ	ウッドブロック (高)	奥行：215mm
16ビート 1	ハイハット・オープン	ウッドブロック (低)	高さ：44mm
16ビート 2	クラッシュ・シンバル	シェイカー	重量：1.1kg
ポップス 1	スネアドラム (ミドル)	スラッド	■付属品
ポップス 2	バスドラム	リバース・シンバル	DCコード ×1
ディスコ 1	ハイハット (ペダル)	■コントロール	オーディオ接続コード ×1
ディスコ 2	ライド・シンバル	リズム (ラージ、スモール)	受け台 ×2
ロックンロール 1	スネアドラム (ライト)	テンポ (ファスト、ロー)	固定板 ×2
ロックンロール 2	スネアドラム (ゲートエコー)	イントロ/エンディング	MIDIコード×1
スウィング 1	ブラシ (ショット)	フィルイン	●オプション
スウィング 2	リムショット	スタート	フットスイッチ (FC-4、FC-5)
バラード 1	タム 1 (高)	ストップ	
バラード 2	タム 2 (中)	キースタート	
シャッフル 1	タム 3 (低)	ブレイク	
シャッフル 2	エレクトロニックタム (高)	リズムシーケンサー	
サンバ 1	エレクトロニックタム (中)	■付属端子	
サンバ 2	エレクトロニックタム (低)	FOOT SW.	
ボサノバ 1	コンガ (高)	AUX IN (L, R)	
ボサノバ 2	コンガ (低)	LINE OUT (L, R)	
レゲエ	ティンバレス (高)	DC IN (9-12V)	
サルサ	ティンバレス (低)	DC OUT (9-12V)	
ルンバ.	クイーカ (高)	■定格電源	
タンゴ	クイーカ (低)	DC IN (9-12V)	
カントリー	アゴゴ (高)	電源アダプター	
音頭	アゴゴ (低)		
アフロ	カウベル		

Function		Transmitted	Recongnized	Remarks
Basic Channel	Default Changed	1 1-16	1 1-16	
Mode	Default Messages Altered	3 X *****	1 X X	
Note Number :	True voice	X *****	0-127/21-127 X	
Velocity	Note on Note off	X X	O v=1-127 X	
After Touch	Key's Ch's	X X	X X	
Pitch Bender		X	X	
Control Change	07	X	O	Volume
Program Change :	True #	O 0-31 *****	O 0-127 0-31	
System Exclusive		O	O	
System Common :	Song Pos Song Sel Tune	X X X	X X X	
System Real Time :	Clock Commands	O O	O O	start, stop, cont
Aux Messages :	Local ON/OFF All Notes OFF Active Sense Reset	X X O X	X O(123-127) O X	
Notes :				

Mode 1 : OMNI ON, POLY    Mode 2 : OMNI ON, MONO  
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY    Mode 4 : OMNI OFF, MONO

O : Yes  
 X : No

## アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

- 保証期間の1年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

### ■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

### ■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか?”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

### ■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(機器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしなさいませんように。)

### YAMAHA 電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184	TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F	TEL.025-243-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内	TEL. 06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ㈱高松店内	TEL.0878-51-7777 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ㈱名古屋流通センター	TEL.052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL.092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒064 札幌市中央区南10条西1丁目 ヤマハセンター内	TEL.011-513-5036
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL.022-236-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39	TEL.082-874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911	TEL.0534-65-6711
(本社)電音サービス部	〒435 浜松市上西町911	TEL.0534-65-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

本 社

シングルキーボード事業部/〒430 浜松市中沢町10-1

TEL.0534(60)3275

東京営業所/〒104 東京都中央区銀座7-9-18パールビル

TEL.03(572)3130

東京特販営業所/〒104 東京都中央区銀座7-9-18パールビル

TEL.03(572)3130

大阪営業所/〒542 大阪市南区南船場3-12-9心斎橋プラザビル東館

TEL.06(252)7491

名古屋営業所/〒460 名古屋市中区錦1-18-28

TEL.052(201)5150

九州営業所/〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL.092(472)2152

北海道営業所/〒064 札幌市中央区南十条西1-4ヤマハセンター

TEL.011(512)6113

仙台営業所/〒980 仙台市大町2-2-10住友生命仙台青葉通ビル

TEL.022(222)6141

広島営業所/〒730 広島市中区紙屋町1-1-18

TEL.082(244)3749

---

**YAMAHA**

YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社

YAMAHA feelin' club



T4960693005866